

安全・安心通信

第17号

平成25年 春

安全は地域のきずなと あなたの意識



岡山県マスコット
「ももち」と「うらっち」

特集号

岡山県では、犯罪のない社会を構築するための施策を総合的に推進するため、「岡山県犯罪のない安全・安心まちづくり条例」に基づき、子どもの安全対策や犯罪抑止対策など、県民総ぐるみで地域から犯罪をなくしていく取組を展開しています。

今回は、特集として、県内で特色のある活動に取り組んでいる団体や、学校と地域が緊密に連携した先進的な取組等をしている団体の活動を紹介します。

地域における安全・安心なまちづくりを進める参考にしてください。

5. 米来きらめきパトロール隊

4. 総社市西部地区安全推進委員会

1. 高島新屋敷安全パトロール隊

3. 西阿知学区防犯連合会

2. 西大寺わんわんパトロール隊

青色防犯パトロール広報活動制度について

県では、青色防犯パトロール活動をしている団体を対象に、車載型の広報機器を貸与しています。普段の防犯パトロールに放送機器による広報効果をプラスすることで、活動が一層効果的になります。

電源をシガーソケットにつなぐだけですぐ使える機械です。

本年もホームページ等で募集のお知らせをいたします。ぜひご応募ください。



高島新屋敷安全パトロール隊

団体のプロフィール

岡山市

○ 結成

平成 15 年 6 月

○ 団体の構成等

- ・代表：齋藤 健司 氏さいとう けんじ
- ・構成：高島新屋敷町内会役員、子ども会、婦人会、地域安全推進員 他多数
青色防犯パトロール車 4 台



青色防犯パトロール隊のみなさん



子どもたちも一緒にパトロール

結成の経緯

- ・痴漢や変質者の出没、自転車や畑の野菜の盗難、空き巣など犯罪が増えていたことから、町内の消防団員などの提案で自発的に結成の意見が高まる。
- ・平成15年6月27日に発足。
- ・平成15年7月4日に、第一回目の徒歩による夜警パトロール開始。
- ・平成18年8月より、青色防犯パトロールも開始。

活動内容等

○ 活動区域

徒歩・・・高島新屋敷町内および高島駅周辺

青パト・・・高島中学校区全域

○ 主な活動内容

- ・徒歩・・・毎週金曜日午後8時30分より、町内の夜警活動。
毎回、婦人会、子ども会も参加し、交番も加わりパトロールを実施。
- ・青パト・・・隔週水曜日午後6時30分より、交番と合同でパトロール。
- ・朝の通学時の見守り

○ 勧誘方法

- ・直接の声掛けや婦人会や子ども会など組織内での呼びかけ。
町内を3地区に分けて、1ヵ月単位で順に担当し、担当月のうち都合のよい日の参加を募る。

○ 活動資金

- ・なし。防犯グッズは、警察などからの支給品。

子どもと一緒に総勢30余名で集団パトロール



「子どもたちと歩くと寒くないんですよ。子どもはエネルギーを持っていますね。こちらまで元気になります」と微笑む年配の女性。外気温1度と冷え込む真冬の夜、総勢30余名で住宅街を歩く「高島新屋敷安全パトロール隊」だ。見れば就学前の園児から年配の方まで。町内まるごと3世代ファミリーの如く、毎週集団パトロールを行っている。

活動は食事を済ませた夜8時30分から60分間。働いている人や親子でも参加しやすいようにと配慮された時間帯だ。「日中は地域の方に見守りしてもらっているの、夜くらいは親もしなければ」。当番も規則もなく、急なキャンセルもしやすいムードも奏功してか、親子や家族での参加が半数を占めている。「一緒に歩いていると、地域の歴史も教えてもらえていいですよ」。顔見知りになることで、祭りや掃除など地域行事も円滑に進む。農地から宅地へと変貌し転入組も多いこの地区で、パトロールは地域の人々を繋げる役目も担っていた。

「おんぶ〜」。中には、途中で歩けなくなったり、高学年のおねえちゃんに手を繋いでもらい歩く子どももいる。それでもどの子どもも使命感を持って最後までパトロール。手には赤色や青色に光るサインライト、「キーンキーン」と拍子木を打ちながら、僕の家、私の家、友達の家の前を通りながら練り歩く。拍子木が聞こえると、家の中から窓のカーテンを開けてパトロールに見入り、次回は自分も参加したいと手を挙げる子どもも多いとか。受け身ではなく能動的に体感することで、安全意識が育まれるとはなんとも理想的だ。

毎週の見慣れた夜の光景に、「こんばんは」と仕事帰りで疲れたサラリーマンや塾帰りの子どもの表情も緩む。

ホームタウンに戻って来た安心感なのだろう。パトロールは、地域住民の心の拠りどころにもなっているようだった。



地域の人と警察官の連携もばっちり

ももっち突撃取材記



新築の家の広々としたガラス窓に、青色回転灯のまばゆい灯りが反射する。隔週に行われる青パト車によるパトロールだ。青パト車の時は、いつもの町内を飛び出して中学校区全域をカバー。炭板の家壁スレスレの狭い道や袋小路の入り組んだ私道、さらに真新しい新興住宅地や畑の小道など、知り尽くしたルートを隅々までゆっくりとパトロールする。青パト車には交番の警察官も同乗し、60分の走行は情報交換の場としても貴重な時間。交番との連携も強固な限りだ。

こうした青パト隊の活動には地域の理解も高く、青色の光と防犯啓発アナウンスに、わざわざ家から出て来て手を振ってくれる人も多い。また、都市部にもかかわらずゆっくりスピードで進んでも、後続の車両を運転する住民からは急かされることもなく、さらに、スーパーで会えばお礼を言われたり、家族は早めの夕食を準備してくれたり。無償ボランティアへの理解と感謝は、様々な形で表れる。

町内に設置された130本の青色防犯灯のうち、既に40本のLED化がされた高島新屋敷地区。今後は青色防犯灯をオールLEDにかえる計画で、岡山一の安全な地域を目指して、隊員の士気はますます高まっている。

西大寺わんわんパトロール隊

団体のプロフィール

岡山市

○ 結成

平成21年3月

○ 団体の構成等

- ・代表：坂本 虎男 氏さかもと とらお
- ・構成：135名（地域の有志、幼稚園・小学校の保護者、地区内の在勤者など）



パトロール隊のみなさん



登下校の見守り活動

結成の経緯

- ・平成19年、ラジオで県警の「わんわんパトロール」の募集を知り、愛犬家2名で活動を始めた。同年7月、新聞で岡山県県民生活部くらし安全安心課主催の「犯罪のない安全・安心岡山県づくりリーダー・コーディネーター養成講座」の開催を知り参加。西大寺小学校区での活動の必要性を痛感する。
- ・平成20年9月、岡山市主催の「安全安心まちづくり講座」を複数名で受講し、自主防犯組織設立へと話がまとまる。
- ・平成21年3月10日、西大寺幼稚園にて出発式。

活動内容等

○ 活動区域

西大寺小学校区。西大寺小学校には、西大寺保育園、西大寺幼稚園、西大寺中学校、西大寺高等学校、岡山学芸館高等学校、岡山学芸館清秀中学校が隣接している。

○ 主な活動内容

- ・徒歩による見守り・・・朝夕の登下校時の約4,000名の児童・生徒の見守り。
半径500mの範囲に、巡回班と立ち班とにわかれて毎朝約20名を配置。
- ・自主防犯指導・・・地域安全マップ作成指導。

○ 勧誘方法

- ・直接の声掛け。
幼稚園、小学校の保護者で核となる活動者をつくり、それらの人を通じて口コミで勧誘。

○ 活動資金

- ・連合町内会による西大寺学区安全安心推進協議会からの助成金をはじめ、個人や団体から寄付を受けている。
- ・助成金に繋がる表彰推薦募集等の情報収集を行い、積極的に応募している。

小学校で地域安全マップの作成指導



「うわあ、この道知っとる〜！ 僕の家近くじゃ！」「私も知っとる！」。地域安全マップづくりの授業中、説明のモニター画面にくぎ付けの子どもたちが、声高らかに叫ぶ。すると隊員は「〇〇県では、このように見えにくい悪い人が入りやすい道路に車が止まって、子どもが誘拐される事件がありました」と説明。地域の写真をふんだんに使いながら、全国の事例を紹介する。驚くほどに説得力のある防犯講座だ。見守り活動の一方で、「自分の安全は自分で守る教育」を活動2本柱の一つとして活躍する「西大寺わんわんパトロール隊」。教員顔負けの防犯指導を行っている。

「先生、私らに任せてくれんかなあ」。今から2年前、それまでサポートとして参加していた地域安全マップの授業の指導をさせて欲しいと買って出た。地域の危険場所の熟知度や日頃の熱心な活動は学校からの信頼も厚く、2時間の授業を5回にわたって任せられることになった。

準備は授業の3ヶ月前からスタート。ルート探しや教材探し、地図作りなど、学校と入念な打ち合わせをしながらカリキュラムが組まれた。メンバーは、地域を良く知る年配者に加え、幼稚園や小学校の若い保護者たち。指導員レベルアップ研修会も度々開催するなど頼もしい。授業は一方的に教えるのではなく、子どもに危険予測力が養われるよう促したり、発表会では全児童に発表の場を与え自分の言葉にすることで記憶に残るよう指導をしたり、子どもの目線に配慮した充実した10時間の授業が行われた。

「横断歩道でも、用心して黄色の旗で早めに制止なんてしませんよ。自分で守れるようにならんと」。自分の安全は自分で守る！の思いは一貫している。



地域安全マップづくりの様子

西大寺わんわんパトロール隊に聞いた活動を活発化させる5つの工夫

- 1. グループ名は親しみやすく、トレードマークは目立つ色で**
「わんわんパトロールのおじちゃん」。赤いジャンパー姿と愛着のあるネーミングで子どもとの距離が縮まる。その格好良さに「大きくなったら、隊員になりたい」と憧れる児童や園児たち。未来の後継者も続出だ。
- 2. ママ友パワーで活動増強**
若い隊員確保には、核になる保護者をゲットせよ。あとはママ友仲間が次々に声をかけ、波紋のごとく仲間を増やしてくれる。
- 3. 隊員の情報&意識共有には「手作り新聞」が効果的**
モットーは、「できることを、できる人が、できるときにする」。当番制などはいっさいとっていない。活動を長続きさせるには、情報&意識共有も重要。手作り新聞は、隊員の一人ひとりに個別配布すると、思いも伝わり、マンネリ化対策にも役立つ。
- 4. 助成金申請は積極的に**
新聞やラジオ、自治体のHPや学校からの情報など、助成金公募情報はマメに探す。書類作成は大変だが、活動資金獲得の為には挑む価値あり。
- 5. 学校の立場・考え方を理解すべし**
忙しい先生たちに配慮して、情報交換は毎朝の見守り時に立ち話で済ます。踏み込み過ぎず一線を引くことで、互いに理解し合え円滑な連携が可能になる。

西阿知学区防犯連合会

団体のプロフィール

倉敷市

○ 結成

昭和 32 年 4 月

○ 団体の構成等

- ・ 代表：狩野 英一 氏かりの えいち
- ・ 構成：地域安全推進員 23 名
子どもを守る会 (PTA、奉仕会、老人会など) 約 360 名
青色防犯パトロール車 23 台



青色防犯パトロール隊のみなさん



ずらりと並ぶ青パト車

結成の経緯

- ・ 昭和32年の結成後、自主防犯組織として連合町内会を中心に55年以上にわたり活動。
- ・ 平成19年より、青色防犯パトロール車による自主パトロール活動も開始。

活動内容等

○ 活動区域

西阿知小学校区

○ 主な活動内容

- ・ 徒歩による見守り、青色防犯パトロール車による巡回パトロール。
- ・ JR西阿知駅周辺の駐輪場における盗難被害防止のための警戒活動。
- ・ 高梁川河川敷における草刈り、ポイ捨て禁止等の啓発看板設置、ゴミ拾い清掃など交番と連携を図り実施。

○ 勧誘方法

- ・ 地域安全推進員や地区公民館長を通じて、PTAや時間に余裕のある人、ボランティア活動に協力的な人に直接声掛け。

○ 活動資金

- ・ 西阿知学区地域活動協議会および有志者から、資金提供あり。

青色防犯灯を県内で最初に導入



「先生、私らにも何かできることはないかなあ」。このひと言がきっかけで長年続けてきた防犯活動に拍車がかかった。青色防犯灯を岡山県内で最初に導入するなど、倉敷地域の防犯活動を常に牽引する「西阿知学区防犯連合会」。総勢 360 名にも及ぶ大所帯だ。いかにしてメンバー間、さらには小学校や交番と円滑な連携を構築しているのか。そのキーパーソンは、地域安全推進員と地区公民館長だった。

活動開始当初のメンバー勧誘も、この両者による呼びかけから。その後、町内会単位のパトロール隊が結成され、交通警察補助員、奉仕会、学校自主パトロール隊なども加わり、今では各自ができる範囲で子どもの登下校の見守りを行っている。この活動が小学校に不可欠である証に、毎月 25 日には詳細に書かれた下校時刻表が作成され、キーパーソンを通じて全員に配布される。年に 2～3 回は子どもたちからのお礼の手紙が添えられ、メンバーたちは学芸会に招待されることもあると言う。

また、彼らは交番との連携の為にも走る。一日 2,500 人以上の乗車人数を数える JR 西阿知駅の駐輪場で、交番と合同で啓発活動を行ったり、また高梁川河川敷では草刈りやゴミ拾い、さらに啓発看板の設置を行ったり、ある時は事件絡みの第一発見者にもなったとか。彼らの下準備のおかげで、大所帯での意思疎通が行われ、数々の精力的な活動が具現化している。

「ちょくちょく小学校や交番に出入りして、情報交換することですな」。大所帯をまとめるキーパーソンたち。このフットワークの軽さで、西阿知地区の安全はこれからも守られる。



感謝の会で安全な登下校について子どもたちに語りかける様子

ももっち突撃取材記



「狩野さんです」「〇〇さんです」900 名を越える全校児童が校庭に整列する前で、鮮やかなオレンジ色のジャンパー姿のメンバーが順に名前を紹介される。年に一度の青色パトロール車の出発式だ。校長先生の口からは「見守りへの感謝」の言葉が何度も使われ、日頃から体で感じているのであろう、澄んだ瞳の子どもたちもよそ見をすることもなく、一人ひとりに注目している。メンバーたちの面持ちは凛々しく、柔らかい笑顔。そして、とにかく格好いい。号令がかかると颯爽と車に乗り込み、顔見知り子どもたちに手を振られて出発進行。表情も引き締まり、ますます格好よく見える。やりがいは明日への活力。出発式は子どもたちへの安全のアピールである一方で、メンバーにとっても活動への励みになるのだと改めて思う。「感謝してもしきれません。小学校にはなくてはならない存在です」と教頭先生。感謝の気持ちは惜しみなく！どうやら、感謝の意志表示は円滑連携・活動継続の鉄則のようだ。

総社市西部地区地域安全推進委員会

団体のプロフィール

総社市

○ 結成

平成8年4月

○ 団体の構成等

・代表：樋口 文男 氏
ひぐち ふみお

・構成：15名

青色防犯パトロール車 5台



青色防犯パトロール隊のみなさん



パトロールの打合せ

結成の経緯

- ・平成8年4月に15名で結成し、旧小学校区を含む5地区に分かれて、地区単位で徒歩でそれぞれパトロールする。
- ・平成19年8月10日より、青色防犯パトロールに変更。

活動内容等

○ 活動区域

総社中学校区内(秦小学校、神在小学校、総社西〈久代、山田〉小学校、新本小学校)

○ 主な活動内容

- ・中学校区を5地区に分け、週1回程度、各地区で青色防犯パトロール車に地域安全推進員が3~4人ずつ分乗して巡回パトロール。
- ・不審者対策と青少年の健全育成を主な活動としている。

○ 勧誘方法

- ・ボランティア精神のある人に直接声掛けて勧誘。

○ 活動資金

- ・地区内の自動車部品工場団地(職場連絡協議会)より、一台あたり毎月1,000円のガソリン券を受領。

青少年の健全育成と安全安心な地域づくりで教育表彰



青パト隊で、教育表彰を受けるのは稀であろう。青少年の健全育成と安全安心な地域づくりの積極的な取組に、平成 21 年総社市教育委員会表彰を受けた「総社市西部地区地域安全推進委員会」。平成 8 年の活動開始から誰ひとりメンバーが欠けることなく、生まれ育ったふるさとを守り続けている。

「中には将来がちょっと心配なイタズラの度が過ぎる子もおるけど、それ以上にならんようになんとか止めてやりたいんよ」。多感な時期の中学生たちだ。メンバーの皆さんは、時には注意をしたり、時には促したり、ほどよい距離感を保ちながら粘り強く見守っている。自転車の二人乗りをやめたり、ヘルメットをかぶり直したり。小学生の頃から見慣れたおじさんの声掛けは、たとえいきがった子でも無視はできないようだ。「ひとりであったら、昔のかわいい子どもの頃のままだからなあ」。愛のある口うるさいおじさんがいたことを幸せだと気づくのは、10 年後かな…。

こうした熱心な活動に中学校も厚い信頼を寄せ、情報交換も日常的に行われている。教員や中学生チームも参加する合同スポーツ大会や、小・中学校教員、警察との懇親会など、楽しみも交えながら士気を保つ。

「絶やさんようにすることが第一じゃからなあ」。懐かしい山、広い空、おだやかに流れる川、黄金色の田園風景。いくつになっても、ふるさととは素直になれるとっておきの場所だ。たとえ子どもたちが巣立っても、いつでも戻れるようにとメンバー全員でふるさとを守り続ける。



パトロールに出発

ももっち突撃取材記



「チリン、チリン」部活帰りの下校時間。きちんと 1 列で自転車を走らせ、中学生たちが家路を急ぐ。本来ならおしゃべりに花が咲き、横いっぱい広がり道路を占拠しがちの年頃であるが、青パト隊のみなさんの長年の努力の賜物であろう、こうして整然と走る風景も定着してきている。

パトロールは、地区ごとにメンバー全員体制で一台の青パト車に乗り込み、防犯啓発テープを流しながら回っている。常に集団行動なので、息もぴったり、あうんの呼吸だ。途中で神社に立ち寄ったり、堀やため池の危険箇所を確認したり、空き地を巡回したり、危険箇所に看板を立てたり。山あいこだまするテープの声に、「聞こえたら、安心するわあ」と住民たちが畑仕事の手を止めて、手を振ることもしばしばだ。

平野部には昔ながらの集落、切り開いた斜面には新興住宅、そして 70 万㎡に横たわる総社市随一の巨大な自動車部品工場団地もある西部地区。毎月渡される感謝のガソリン券だけでは計り知れない地域からの期待を背に受けて、今日も東奔西走駆け抜ける。

米来きらめきパトロール隊

団体のプロフィール

真庭市

○ 結成

平成18年3月

○ 団体の構成等

- ・代表：猪頭 弘行 氏
いとう ひろゆき
- ・構成：8名

青色防犯パトロール車 8台



米来きらめきパトロール隊のみなさん



青パトに貼ってある
きらめきパトロール隊の章

結成の経緯

- ・大阪府池田小学校の事件をはじめとする全国各地で頻発した凶悪事件に伴い、田舎でも対応が必要と、平成18年3月に青パト隊を結成。
- ・結成当時は、青色防犯パトロール車5台、5名でスタート。

活動内容等

○ 活動区域

米来小学校区内

○ 主な活動内容

- ・年間を通じて活動時間は、毎朝7時15分～8時10分。担当地区内を車でパトロール後、危険箇所登校中の児童の見守りを行い、「おはよう」の声掛け運動を実施。
- ・青色防犯パトロール隊の活動を後援すべく、家の中から見守る「窓越し隊」、田んぼ仕事をしながら見守る「田んぼ隊」、犬の散歩をしながら見守る「わんわんパトロール隊」も実践中。

○ 勧誘方法

- ・ボランティア精神のある人に直接声掛けて勧誘。

○ 活動資金

- ・ここ数年、真庭市から団体1車に対し年間3,000円程度の補助を受けている。

雨にも負けず 風にも負けず



「ブルン」車庫内に響くエンジン音。午前6時40分、天候は雪。30cm以上の積雪だ。まだ薄暗く氷点下の凍てつく寒さの中を、青パト車に乗り込み出発する「米来きらめきパトロール隊」。子どもたちが登校する日は、休まず毎日パトロールしている。

まずは山すその外周を走って確認だ。見知らぬ車、無断駐車はないか、見慣れぬ人はいないか、道路の陥没など危険箇所はないか。そして7時を過ぎる頃からは、防犯啓発テープを回しながら巡回する。朝の散歩の人にすれ違えば、いつもの挨拶。「おはようさん」と窓を開けて、家の中から挨拶する人もいるという。「〇〇さんの拡声機が鳴ったら、学校に遅れるゆうて、うちの孫は急ぎようるよ」。青パト車はさな

がら目覚まし時計のようだ。

ひと回りしたら車から降りて、今度は「立番(りつばん)」と呼ばれる定点見守りに。交通量の多い危険箇所や横断歩道で待機する。車がスピードを出しすぎないように青色回転灯を回し続け、濃い霧の日には車のライトを付けっ放しにして、子どもがいることを四方に知らせる。道が凍った日は融雪剤をまいて地ならしをしたり、交通整理をしたり、道路工事の車両を見れば通学時間が終わるまで仕事開始を待ってもらおうようお願いに行ったり、寒さで手足がしびれるほどのしもやけになっても、毎日ひたすら子どもたちの安全を見守っている。

こうした姿に忙しい保護者たちも「下校時は私たちが見守ろう」と変化が出たり、子どもたちからは感謝のメダルが贈られたり、小学校からも感謝の意が絶えない。

「風邪やこおひいたことないよ、子どものおかげを受けようるわ」。車に貼られているのは、小学校の校章をアレンジしたデザインのマーク。子どもたちは米来の宝、みんなの元気の源なのだ。



雪の日も子どもたちを見守る隊員

ももっちの感想



雨ニモマケズ 風ニモマケズ 雪ニモ夏ノ暑サニモマケヌ 丈夫ナカラダ
ヲモチ 慾ハナク 決シテ瞋ラズ イツモシツカニワラッテキル 一日ニ玄
米四合ト 味噌ト少シノ野菜ヲタベ アラユルコトヲ ジブンヲカンジョウ
ニ入レズニ ヨクミキキシワカリ ソシテワスレズ 野原ノ松ノ林ノ蔭ノ小
サナ萱ブキノ小屋ニキテ 東ニ病氣ノコドモアレバ 行ッテ看病シテヤリ
西ニツカレタ母アレバ 行ッテソノ稲ノ束ヲ負ヒ 南ニ死ニサウナ人アレバ

行ッテコハガラナクテモイ、トイヒ 北ニケンクウヤソショウガアレバ ツマラナイカラヤメロトイヒ ヒドリノトキハナミダヲナガシ サムサノナツハオロオロアルキ ミンナニデクノボートヨバレ ホメラレモセズ クニモサレズ サウイフモノニ ワタシハナリタイ

～宮沢賢治『雨ニモマケズ』より～

自然体で活動を話す隊員のみなさんは、実にあたたかく穏やかだった。「雨にも負けず 風にも負けず…」宮沢賢治が理想とした精神を地道に体現化している人たちが、今ここ真庭の米来地区にいる。感謝とともに、誇りに思いたい。

犯罪のない安全・安心まちづくり 支援自動販売機紹介事業について

県では、青色防犯パトロール実施団体（青パト隊）の支援を目的とする募金型自動販売機の設置について、事業者との橋渡しの取組を進めています。

自動販売機の基本的なカラーリングは鮮やかなグリーン、大きなロゴで青パト隊の名前が表示されるとともに、安全・安心ももっちがあしらわれています。

一目でそれと分かる印象的な外観の自動販売機ですが、その売上金の一部（標準 20%）が青パト隊に寄付される仕組みとなっています。



自動販売機設置のおおまかな流れ

《設置を希望される場合は…》

- 県から制度概要を説明し、自動販売機設置事業者を紹介しますので、くらし安全安心課までご連絡ください。
- 自動販売機設置事業者から、設置手続に関する詳細な説明やアドバイスをします。
- 寄付金の使途が不明朗にならないよう、青パト隊の皆さんで会計規程の作成などを検討してください。

設置場所の選定

- 青パト隊で自動販売機の設置場所を選定していただき、その地権者や責任者との間で、電気代の支払いなど設置に関する契約を締結していただきます。

事業者との協定締結

- 青パト隊と自動販売機設置事業者との間で、販売機の設置、管理、寄付などに関する協定を締結します。

販売機の稼働

- 自動販売機設置事業者が自動販売機を設置し、稼働を開始します。
- 自動販売機設置事業者から、毎月、青パト隊の口座に寄付金が振り込まれます。

ご注意 この事業の対象団体は、青パト隊です。

お問い合わせ

岡山県 県民生活部 くらし安全安心課
〒700-8570 岡山市北区内山下2丁目4番6号

電話 086-226-7259
FAX 086-225-9151

<メールアドレス> anzenanshin@pref.okayama.lg.jp
<ホームページ> <http://www.pref.okayama.jp/> (岡山県) ▶ 組織で探す ▶ 県民生活部『くらし安全安心課』
<フェイスブック> <http://www.facebook.com/kurashianzenanshin>